



帯広静時

北海道帯広三条高等学校
〒080-2473
北海道帯広市西23条南2丁目12番地
TEL: 0155 (37) 5501
発行日 令和2年6月24日

今年度活動大幅縮小やむなし～PTA役員会・運営委員会

過日PTA総会書面審議をお願いしましたが、会員数761名のところ提出数684（書面表決書261、委任状423）、全ての議案について賛成率100%をもって承認いただきましたことにお礼申し上げます。これを受けて6月8日に役員会を開催し、今年度の年間行事予定、各部活動計画等の審議をしました。その中で研修厚生部の活動について、6月学校施設見学会、7月そば打ち、10月外部講師による講演会については、新型コロナウイルス感染予防の観点から中止と判断させていただきました。また、臨時休業による学校行事変更により学校祭が中止となりましたが、その代替行事について生徒会で審議しており内容が決定次第、PTAとして協力は惜しまないことを確認しました。また、その中でマスクをしながら学習している生徒たちの熱中症対策として扇風機の購入の検討を提案してくださいました。学校としても前向きに考え対応して参ります。



【広報委員会の様子】

この役員会を受けて12日は運営委員会が開かれました。例年ですと各部会での審議を終えた後、焼き肉で親交を深めるところでしたが、それもかなわないのが残念でしたが117名の参加をいただき、各専門部の活動について審議していただきました。

今年度は大幅な活動の縮小となりましたが、生徒の活動のバックアップを変わずお願いいたします。

部活動再開しました。

6月1日の学校再開に伴い、部活動が段階的にではありますが再開しました。密を避けるため、体育館の割り当ては時間を細かく区切り、さらに感染防止に各部が工夫を凝らして活動をしています。15日以降は管内高校同士の練習試合等ができるようになり、7月1日以降は管外チームとの交流や遠征等も認められるようになります。もちろん可能な限りの感染防止を行った上でのことであり、全ての活動ができるものでもありません。部活動によっては活動方法がまだ手探り状態のものもあります。さらに今後の感染状況等によっては中止の判断をせざるを得ないこともあります。いずれにしても生徒の生命を守ることを第一としてのことです。ご理解ください。



1年生に『夕張メロンポッキー』

この度、江崎グリコ株式会社から、「新型コロナウイルス感染症で不安を抱えるなか大きな一歩を踏み出した新入生に、故郷 北海道の美味しさで少しでも元気で前向きな気持ちになって欲しい」との趣旨で、道立学校の新高校一年生へ「夕張メロンポッキー」を寄附していただきました。本当にありがとうございました。学校が再開して実質的な高校生活が始まったばかりですが、多くの方々から応援を頂いていることが今後の励みになればと思うところです。

皆さんも既にご存じのことと思いますが、実は4月には石屋製菓様から「白い恋人」もいただきました。他の年次の生徒から「いいなあ」という声が聞こえてきそうです。



第2回 主幹教諭 池田 昭 仁 教諭

数学の「できた！」という喜びを知ってほしい

◆主幹教諭として

主幹教諭の役割は校長、教頭の補佐をすることなのですが、自分の中ではスタンスは今までとは変わってないつもりです。手助けが必要なところに行って自分ができることをする。それだけなんです（笑）。今までも初代部長として生徒支援部の立ち上げに関わったり、総務部長、教務部長を務めたのもこの思いからでした。そしてこの立場になって、その思いがより強くなった感じがします。生徒への向き合い方も同じです。何か困っていることはないかな？何かしらつまづいたことはないかな？だから授業ではやさしく丁寧に教えてあげようと思っかけています。

◆教師になったのは運命！

数学が好きで、もっと勉強したいと思っていましたが、まさか自分が教師になるとは思ってはいなかったです。教育大学に進学したのは高校時代に好きな人から一緒に行こうと言われたからでした。それなのに彼女は教育大に受かっていたのに違う大学に行っちゃって、ホント何なんだった。大学でも厳しくて有名な先生のゼミから逃げようとしてたのに、一歩遅く最後の一人になってしまい、先生から「池田君はゼミから出て行かないよね」と言われてしまい、「もちろんです」って答えちゃってそのまま残ることになりました。

そして当時の教育大はみんな先生になるのが当たり前のような雰囲気でしたから、そのまま教員採用試験を受けて教員になるということなんとも情けない展開です。でもいざ教職に就いてみると自分に本当にあったと思います。だから今振り返ってもやっぱりこれは導かれたんだ、運命だったんだな、と思うんです。

◆数学の魅力

大学に入学したら自分の数学のレベルの低さに愕然としました。もう本当にうちのめされました。ゼミで大きな黒板の前で解法を書いていくのですが、教授に「それ違う」「ここも違う」と指摘されること4時間。最後に残ったのは円柱の絵だけという厳しさでした。でも解けたときの喜びや達成感といったありません。数学は答えが明確です。信じて進めば必ず答えにたどり着くものです。いい加減さが全くないのです。「できた！」という喜びを生徒の皆さんに是非知ってほしいと思います。



インタビュー

きらり

最後の行事の企画に奔走中

生徒会長 若原 亜蘭 くん

三条高校で輝いている生徒を紹介します。インタビュアーは校長です。



記念すべき第1回は生徒会長の若原亜蘭君です。新型コロナの影響で生徒会行事が中止となる中、何とか思い出に残るものをと、10月の生徒会行事を現在企画中です。

「正直なところ、嬉しさ半分、辛さ半分といったところでしょうか。新型コロナの影響で全ての行事が無くなってしまうのではなく一つでもやれるのは嬉しいです。でも進学とかを考えると負担が大きいのも事実。とにかく生徒全体の声をしっかり聞いて心に残って楽しめる行事にしたいです。」と複雑な心境をのぞかせます。

中学時はサッカー部。高校入学後、たまたま知っている先輩が生徒会にいて、その雰囲気惹かれて生徒会へ。学年で一人だけだったため自然と生徒会長をやる覚悟はできてきたと言います。

「先輩のようにうまくいかなかったと思っていました。でもやっていくうちに人前で話すことに抵抗感はなくなってきましたし、仕事を割り振っていくこともできるようになりました。」と自分の成長に手応えを感じつつも、「仲間あつての生徒会です。全校生徒に寄り添っていく生徒会でありたいというのが、生徒会3年生全員の気持ちなんです。」とあくまで謙虚です。

そんな会長が醸し出す雰囲気の良いさに惹かれてか、1年生のメンバーが10名を超す勢い。「三条の伝統を守るためにも、僕らが伝えられることは全て伝えておきたい。」と強い気持ちを秘めています。全校生徒には「三柏戦や学校祭等楽しみにしていた行事がなくなり、準備していたことが報われないでっかりしていた人も多いと思います。その気持ちを受け止めて最後の行事頑張ります！」と力強く語ってくれました。生徒会のリーダーとして頼もしい限りです。



編集後記

今号から学校通信のタイトルは田原先生による書にさせていただきました。さて、前号について「11期生という呼び方は何？」という質問が寄せられました。これは単位制になってからの11期生ということです。確かに創立100年を超える学校で11期生は何を指すのか疑問を持たれる方もいらっしゃるかと思います。説明不足でした。以後気をつけます。（文責 校長）